大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

昭和十二年十二月六日　新京日日新聞　(夕刊)　第五千三百四十三號　(一)

新京日日新聞
夕刊　十二月五日

本紙一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇 營業局專用(3)三〇五
發行人 松本榮忠
編輯人 河[illegible]勇
印刷人 水越內之介

五日拂曉 句容を完全占領

頻々たる敗報に 南京軍士氣沮喪

【上海五日發國通至急報】けふ曉方わが○○部隊は句容を完全に占領した

【上海四日發國通】京滬、京蕪線一帶に三十餘萬の大軍を集中して南京死守を揚言しつゝある蔣介石は、連日京滬沿線及び句容方面の防禦陣地を視察し自ら督戰に當つてゐたが、丹陽、金壇、溧陽、溧水陷落の頻々たる敗報に今や南京防衛軍の士氣は極度に沮喪して全然戰意を缺くもの多く、且つその大軍の過半數は廣東軍、舊東北軍、强制徵發の壯丁訓練隊より成り軍の統制頗る紊亂せるをもつてこれ等劣惡なる雜軍を最前線に配置、南京城內附近一帶の重要地點は中央軍が雜軍の監視に當るといつた有樣で、皇軍攻擊の前に南京防衛作戰は今や崩壞の危機に直面してゐる

上海全く明朗化す

【上海四日發國通】皇軍の入城式ともいふべき租界內行進も完了して蘇州河以北は急に明朗化し、三日以來市中は全く面目を一新した觀がある、沿道に居並ぶ正金や興業等はもとよりのこと、さらに奧に入つた三井、三菱、住友の各銀行も三ケ月ぶりに正門を開き、その前に交叉された大日章旗が翩翻と飜つてゐる、租界に入る邦人の自動車といふ自動車も皆今まではガーデンブリッヂを渡つて租界の蘇州河以南に一歩を踏入れた瞬間取外してゐた日の丸を去る三日からは、そのまゝこれ見よがしに掲げて市中を疾驅してゐる、俄かに日本人の世界が廣くなつたやうだ、南京路を散歩する邦人もめつきり增えた、これに伴つて今迄に見られなかつた現象が生じて來た、それは南京路邊りの邦人商店は勿論のこと外人商店でも日本の圓紙幣が通ずるやうになつたことだ、南京路目拔きの四川路角に聳え立つ英人經營の百貨店ホワイトウエーで記者はネクタイを一本買つて十圓の日本紙幣を出したところ先方はバトで勘定して支那銀でつりを呉れた、それから更にアメリカ人經營の食堂でチヨコレート、コーヒ代を同じく邦貨で拂つたところ、文句なしに受けとつた、市中の一流ホテルでの日本金對ドルの爲替相場は百元に對し日本金百二圓餘であるが、これが實際には一對一で大手を振つて買物に使へるのである、商人にとつては二分方の割引をしたのと同樣であるが、何時崩れるか判らぬ支那札を持つてゐるよりはこの方が兩替損をしても信用のある日本紙幣をもつてゐるのが安全だからである、日本金での買物は虹口方面に限られて居たのが最近ではその他の租界內でも使用できるようになつたのである、日本の經濟的躍進である、今後の日本札の流通範圍は更に擴大されることだらう、これと反比例して支那札はますます支那人からも見離される運命を辿ることだらう

斷乎策動を排し わが態度再闡明か

【東京國通】皇軍の疾風的進擊により首都南京の陷落も目睫の間に迫つたので、これを機會に帝國政府の確固たる態度を再度中外に闡明すべしとの議が最近政府ならびに關係當局の一部に擡頭し、これをめぐつて目下種々の準備工作が關係方面に進められつゝあることは注目すべきである、すなはちその理由とするところは北支方面においてはすでに治安の恢復とゝもに政治、經濟、文化の諸工作が着々進展し、また中支方面においては南京の陷落は旬日を出でずと豫想せられ、且つ皇軍の占領地たる上海、南京間には早くも民衆自治運動の芽生へが傳へられる、一方國民政府の潰滅に焦燥を感ずる歐米各國の間では日支間の調停に乘出すべき機會をねらひつゝあるといふ實情にあるので、わが國としては此際再び今次事變に對應する斷乎たる決意と所信を披瀝し、各種の妄動策動を排擊し所期の戰果の達成と事變終局の目的に邁進すべきであるとの決意を固めてゐる現在足搔きを續ける國民政府に最期の止めを刺し、事變終局に一大轉機を劃するものと重視されてゐる

英國の對支政策 重大轉換近きか

蔣を制肘し和平の機を窺ふ

【東京國通】確實なる筋への情報によれば、英の對支政策は南京政府を積極的に援助することによつて支那における特殊權益の擴大伸張を企圖して來たが、今や蔣介石政權の沒落の危機いよいよ切迫せると幷び英國の對支政權は重大なる轉換を餘儀なくされ、この結果長期抵抗を夢見る蔣介石の作戰行動は今後著しく制肘を蒙るものとみられ、この機會を捉へ英國の實利主義的外交政策は日支調停の斡旋役を買つて出んと待機してゐるものゝ如く、目下平和の解決促進のチャンス把握に英國は頗る焦慮してゐると傳へられる、すなはち英國は最近數次にわたり出先官憲を通じて蔣介石の意向を打診せしめたが蔣介石は對日長期抗戰の意圖を捨てずあくまで長期抵抗を豪語してゐるので積極的外交交涉に乘出すべき見極めがつかず、今しばらく南京政府に對して從來の積極的援助を漸次消極的支援に誘導の態度をもつて臨み、一方日本に對しても手を握つて積極的な對日接近を策し、徐ろに蔣介石が泣きを入れる機會の助長政策をとらんとするのではないかとの觀測が有力である

大元帥陛下 陸士卒業式に親臨

正式仰出さる

【東京國通】大元帥陛下には來る廿日親しく神奈川縣座間の陸軍士官學校に行幸、新校舍成つた同校初の卒業式に親臨遊ばされる旨四日正式仰出された

畏くも天皇陛下には當日雨天に非ざる限り武藏野の大平原を利用した同校練兵場に御立寄り、御野立所にて暫し同校學生の戰闘演習を天覽遊ばされる御豫定と承る

東京で滿伊兩大使會見

阮駐日大使は駐日伊太利國大使館を訪問、伊太利國の滿洲國承認につき謝意を表した

汪精衛、和議說き 聽衆大反對す

【上海五日發國通】漢口來電によると、汪精衛は三日漢口で民間各團體幹部に對し日支紛爭全段階に關する一場の演說を試みたが、右演說中たまたま汪精衛はトラウトマン獨大使、蔣介石會談に言及し和平を開始するならばこの機會を逃すべからずと述べ、右に對し聽衆は一齊に徹底抗日を叫び議論沸騰し同講演會は極めて不愉快に終つたと報じてゐる、なほ右の演說は汪が民衆の意向を打診せんとしてなしたバロンデツセイと解され時節柄注目されてゐる

戰火おさまれる包頭 治安全く恢復

街はハチ切れる程の賑ひ

【包頭四日發國通】つい二ケ月前戰火の巷となつたこゝ包頭も、神速果敢な皇軍の威武に今は內蒙、寧夏、五原方面への交通の中心地としてハチ切れんばかりの活況を取戻して來た、四周二里の城壁に圍まれて悠々たる大黃河の流れを望むこの町は、人口八萬、穀類、羊毛、毛皮、阿片などの交易年額二千萬圓を超えるといはれる都市だ、零下卅五度の酷寒の町だが新しい生活が奧地から買物に來た蒙古人によつてくりひろげられてゆく市街東端の東一街一帶は、五原、寧夏からの積荷を運んで來てゐる駱駝の群が氾濫し、裏通りの町でも人通りが多く奇妙な聲をはりあげて豚の腸を刻んでゐる男がこゝかしこに見られる、近くの教會からはオルガンの音さへ聞えて治安維持會、商務會の努力で治安も全く心配なく物價調整も食料難の打開も貧民の救濟も順調に行はれてゐることが看取される、足早な冬の陽が黃河の東、ウルドスの大砂丘に沈めば町の湧泉巷一帶の歡樂街、城壁の一隅には防寒帽に身をかためた皇軍の步兵の姿も颯爽と立つてゐる、遠く蒙古を吹きわたつて來る朔風も何のその、こゝ包頭こそは我等日本民族がアジア民族の團結をさけぶ最前哨なのである

支那財界知識界に 和平氣運濃厚化

【上海四日發國通】皇軍の進擊物凄く敵第三線の崩壞は目睫に迫り、南京落城も今は全く時間の問題となり、戰局のかゝる飛躍的發展と共に日支關係は全面的に今や新たなる段階に入らんとしてゐる、即ち支那側に於て敗戰の事實に對する認識漸く深まり、他方京滬地方三ケ月半に亘る交戰によつて蔣介石としても國民の手前抗戰の面目は充分に保たれたと見る向も多く、問題は寧ろこの上長期抵抗の第二期に入つて無益なる抗戰を續け、民力を凋渇消耗すべきか或はこの際敗戰の事實を認めて日本と和しもつてこれ以上の國力の損失を避く可きかの如何にあり、國民として蔣介石に對し何れの道を要求すべきかを積極的に決定すべしといふ議論が上海、漢口等の財界及び知識階級方面に最近擡頭し來り、トラウトマン獨大使と蔣介石との會談を繞つて支那側の和平氣分は未だ潜在的ながら俄然濃厚化するに至つた

日ソ漁業協定問題で ソ聯の誠意要望

―外務省、四日聲明を發表―

【東京國通】日ソ漁業協定締結については從來兩國間で折衝が進められてゐたが、外務省では四日左の如く聲明を發表しソ聯側の誠意ある態度を要望した、要旨左の如し

日ソ漁業條約の修正交涉についてはわが政府は本年春以來機會ある每にソヴィエト政府の反省を求め速かに兩國間の案文確定をみたる新協定案の調印を了し、長期に亘つて漁業に關する紛議を一掃せんことを促したのであるが、ソ聯政府は日ソ一般關係を云々し漁業條約交涉に對する話合の再開に應ずる氣配を示さず、荏苒日を經るに至つた、しかるに本年漁期も終り當業者は來年の用意にとりかゝらねばならぬ時期となつたので重光大使は十月十九日ソ聯政府に對し速かに幾年來の修正交涉を完結し、新協定案に調印を了することは條約上の嚴然たる義務であることを指摘すると共に、ポチヨムキン外務委員代理宛書面をもつてわが政府の要求を明かにし、調印すべき新協定案文を送付し爾後再三先方の交涉員たるカズロフスキー極東部長に回答を催促したが、漸く十一月廿日に至りストモニヤコフ外務委員代理は重光大使に對し「ソ聯政府は條約に基き新漁業協定を締結する用意はあるが、昨年兩政府當局間に妥決した案をそのまゝ假認する事は出來ないので、目下具體的修正意見を取纏め中である」旨述べた、右ソ聯の態度は帝國政府の甚だ意外としたところであるが、兎も角一應先方の具體案をみることゝし準備未了とて具體的意向の表示を遷延してゐる、かくの如きソ聯政府側の態度は徒らに漁業交涉を遷延し當然なすべき條約上の新協定調印の義務を懈怠してゐるものと解せざるを得ない、かくの如く帝國政府は出來得る限り協調的態度を持し難きを忍んで新協定の調印を督促したのであるが、ソ聯政府は依然交涉を遷延してゐるのであつて、これに對してもわが方は隱忍を重ねソ聯政府の反省を促し、現に根氣強く新協定の調印を督促してゐるのである、帝國政府の公正なる態度を諒解し日ソ國交の大局に鑑み速かに新漁業協定の締結を完了せんことをこゝに強く主張する次第である

空軍後續部隊へ 力強き前進!

民間飛行家の志願殺到

【東京國通】戰線到る處縱橫に活躍するわが空軍部隊の華々しい武勳が傳へられる時銃後に免許證を持つ飛行操縱士は相當多數に上つて機會ある每に陸海軍に從軍志願をなしてゐるが、帝國飛行協會はこれらの赤誠に燃える志望者の目的を出來る限り達成させるべく過般來全國各府縣の操縱士に向け從軍志望者を募つたところ、二日までに五十四名の多數に上り、わが空軍後續部隊の力強き伴奏として關係者を感激させてゐる、帝國飛行協會では早速その志願者を陸軍に提供斡旋の勞をとる事になつたが、中には若冠十七歲の佐伯二等操縱士(本籍廣島縣)あり、また自ら鮮血をもつて志願書に署名、或は日の丸を描いて是非採用されたいと血書したものもあつた

今吉拓務省課長 北支視察へ

【東京國通】拓務省では北支における棉花開發狀況調査のため今吉調査課長を派遣することになり、同課長は五日午後三時東京發北支に向ふことになつた

伍堂國民使節 外相と會談

【ベルリン三日發國通】國民使節伍堂卓雄氏三日正午ドイツ外務省にノイラート外相を訪問、約卅分間にわたり會談を遂げた、右は從來の會談よりさらに一步を進めたもので東亞の新情勢に對應すべき經濟工作につき種々意見を交換しノイラート外相も協力の意を表明したと解される、會談後伍堂氏は左の如く語つた

滿足すべき會談だつた

なほドイツの對支勸和勸告說が傳へられてゐるやうだがそんな事實はないと承知してゐる

滿伊親善のため 一層努力せん

―コルテーゼ氏歸奉談―

滿伊兩國々交史上に輝かしい一頁を飾る盟邦イタリー政府の滿洲國正式承認に當り、晴れの駐滿イタリー代理公使として國都新京に赴き承認書の歷史的捧呈式を終へ、同時に特命全權公使のアグレマン要請に對する滿洲國皇帝陛下の勅許を拜したイタリー駐奉總領事ルイヂ・コルテーゼ氏は四日午後十一時廿五分着列車で歸奉したが、氏は無事重責を果した喜びを面に浮べて左の如く語つた

わが國の滿洲國正式承認に關する一切の手續は滿洲國側の御努力により滯りなく終了し喜びに堪へない、今後は滿伊兩國の親善增進のため一層努力し滿洲國々民の期待に副ひたいと考へてゐる

人事往來

着京

▲有田宗義氏(官吏)四日來京ヤマトホテル ▲伊藤剛介氏(日滿製油)同 ▲野中禎一氏(會社員)同 ▲堤永市氏(滿鮮拓植)同 ▲黑田啓化氏(實業)同國都ホテル ▲安岡要治氏(官吏)同 ▲釣舟三郎氏(鑛工業)同 ▲橫倉輝氏(農業)同中央ホテル ▲柏木英介氏(滿鐵社員)同 ▲上田研介氏(建築業)同 ▲稻葉幸太郎氏(同)同 ▲川井愛三郎氏(哈市高等工業學校)同滿蒙ホテル ▲三谷滿氏(吉林省次長)同 ▲谷口氏熊氏(官吏)同 ▲山根彌氏(滿鐵社員)同國際ホテル ▲津浦敏雄氏(會社員)同 ▲岡崎虎雄氏(會社員)同向陽ホテル ▲赤司廉太氏(官吏)同 ▲安本献二氏(滿鐵社員)同蓬萊ホテル ▲松村潤一氏(同)同 ▲伊藤乙彥氏(商業)同 ▲吉村案義氏(滿鐵社員)同 ▲大畑寬平氏(同)同富士屋旅館 ▲中島時雄氏(同)同 ▲大岡三郎氏(同)同 ▲田口弓次郎氏(會社員)同

出發

▲菅要助氏 四日奉天へ ▲鮫島千代策氏 同 ▲齋藤兼吉氏 大連へ ▲村井啓次郎氏 同 ▲奧野武貞氏 奉天へ ▲牛尾正一氏 圖們へ ▲清池義雄氏 哈市へ ▲小平米雄氏 奉天へ ▲大橋正己氏 吉林へ ▲中山忠三郎氏 哈市へ ▲永野義男氏 大連へ ▲黑田友七氏 齊々哈爾へ ▲高瀨俊氏 大連へ ▲田邊秀雄氏 吉林へ ▲渡邊清作氏 大連へ ▲三上宗次郎氏 同 ▲橋本周氏 同 ▲井崎英明氏 琿春へ ▲高野陸之氏 吉林へ ▲藤井保則氏 奉天へ ▲關家道氏 吉林へ ▲廣瀨清一氏 大連へ ▲近藤芳弘氏 同 ▲古澤敏太郎氏 哈市へ

その日く

□南京すでに士氣無く、敗戰求和の聲も起る、それも窮餘の策無しと知つてか

□上海に明朗あまねく、今は共同租界といふ如き名前が適切でなくなつた

□英國は對支政策轉換をはかるとか、だがその底意は見え透いてゐる

□空の荒鷲につゞく民間の飛行家たち、これは若い鷹の群とも稱すべきか

□斷乎たるわが態度、幾度闡明してもいゝ、世界の認識が是正されるなら

商店街異常なし
遽に書店と門松屋はホク〳〵 時局柄宣傳に一苦勞

戰時体制下の師走

師走の扉を開いてより既に五日、商店街は第一次宣傳戰の火蓋を切る頃であるが戰時體制下の本年は平常と何等變らぬ落着きを見せてゐる、でも時期は爭はれぬもの各店それ〴〵意匠に頭をしぼつた時局に相應しい立看板が巷に增へて來た何處をのぞいて見ても「時節柄ですから例年の通りにはいくまいが中頃までにはボーナスも出揃ふ模樣だし歲末氣分の出るのはそれからでせう、今年の宣傳には相當頭を痛めますよ」といふもの〻大して悲觀はしてゐない、一般の商店に引かへ景氣のよいのは書籍店だ、どの書店も店頭は戰時氣分をふんだんに盛つた新年號の雜誌の山、五日の日曜日は開店を待つてどつと押し寄せた生徒兒童や勤め人で身動きならぬ雜沓を極めてゐた、今一つ景氣のよいのは門松屋さんだ、例年市中の門松を一手に引受けてゐる聖德會では最初どうなることかといさゝか杞憂の態であつたが蓋をあけて見ると意外、前年に比べて成績は上々既に本日までの申込受付けが大小合せて八百口を突破しなほ引つ切りなき申込みに係員は日本傳統の神事だけに却つて例年より大きいものを申込む官廳會社が增えたことは時局柄刮目すべき現象でせう、既に第一回の入荷がありましたが早速內地へ追加注文を發したやうな次第で總體的に見ても前年よりうんと增加する見込みですと非常時ふつ飛ばせの勢である

ボーナス景氣上乘で 綻びる巷の表情
中旬までには一切出切らう

治廢並に行政權移讓の都合で滿洲國入りの警察官、官吏は十一月末に賞與を受けボーナス景氣のトップを切つたが、師走に入ると共に各官廳會社でも一齊にナスの審定調査を始め巷の話題を賑はしてゐる噂さに上つた二、三を擧げてみるに、滿洲國官廳が八割から十割程度滿鐵は最高が三十五割見當と目され特殊會社は大體十五割から二十割で、傭員級は大體今月の十五日頃迄には各自の手許に渡り職員級は少し遲れ二十日頃となる見込みである

哈爾濱國婦 皇軍從軍滿人軍夫に慰問金

哈爾濱國防婦女會では雄々しくも日本軍に從軍を志願し後[illegible]躍せる當地方出身滿人軍夫二百餘名に對し、銃後の女性としての感謝と慰勞の赤誠を表明すべく、客月來連日の酷寒にもめげず街頭募金を行つてゐたが、このほど總額一千百八十六圓五十一錢五厘の巨額に達したので一先づ打切り、三日代表者ならびに關係者打揃つて當地○○部隊に出頭、右募金の獻納をなしたが、軍當局では時節柄この美擧にいたく感激、早速その一部をもて記念從軍章を調製、これ

奉天協和會 虛禮廢止徹底へ

協和會奉天市本部では三日定例委員會を開催、時局の重大性に鑑み年末年始の虛禮廢止について具體的方法を協議の結果、左の如く決定、各分會員に通達してこれが徹底をはかることゝなつた

一、年末年始の贈答品全廢
一、新年宴會、忘年會の簡素化
一、年賀狀は必要程度に止める
一、年賀の知人訪問はなるべく五禮會を利用

に金一封及び祝菓を添へ來る十五日午後各人に傳達することゝなつた、なほこれと別個に當地飲食店組合ならびにアジア・ホテルではそれ〴〵從業員一同の名をもつて同樣趣旨に基く獻金三百卄二圓四十錢及び百六圓を軍並びに領事館を經て獻納の手續をなした

本溪縣東北で 有力匪を殲滅

○○部隊發表＝片野討伐隊の竹原部隊は去る一日午後一時頃本溪縣第四區老邊溝東北方高地において匪首不明の有力匪團を發見、直ちにこれを包圍攻擊、激戰數刻にして敵に潰滅的打擊を與へ潰走せしめたが、右戰鬪において一等兵若林春吉氏（東京府出身）は壯烈なる戰死を遂げ、伍長春山美之氏（埼玉縣出身）は負傷した

でこれが活躍の日は期待されるところのもの頗る大である

ロードレーヤー完成 廿日試運轉

總局が滿洲における自動車交通の劃期的飛躍を期するため計畫した無軌道列車（ロードレーヤー）は、かねて奉天鐵道同和自動車會社に依賴製作を急いでゐたが、この程いよ〳〵完成したので來る二十日頃奉天新京間の試運轉を行ふ事となつた、なほこの無軌道列車は牽引車とも六輛連結でスピードは平坦路三十キロ可能といふ極めて優秀なものである、なほ試運轉の結果大丈夫との折紙がつけば更に改良を加へ北滿各自動車線に運轉される筈である

新京から一時間の 眺望絶佳 下九臺溫泉 愈よ本營業開始

國都から僅か一時間で行ける近郊眺望絶佳の地に泉質良好設備萬端整つた湯泉場が出現し、こういつた設備に惠まれぬ國都市民を喜ばせてゐる、この溫泉場は新京驛から五十一キロ吉林から七十五キロ餘しか離れてゐない京吉沿線下九台驛から約八丁餘離れた小宵山、小南河附近の林地で、ここに偶々發見された鑛泉を經營して一溫泉場としたものである、開拓經營者は新京中央通寶石商岩間商會主岩間甲斐之助氏を專務とする九臺溫泉公司で、元來この地方は水質不良のため、惡疫が絶えないといふので良質の井戸水を得るため數年前九臺縣公署が附近を掘鑿してゐるうちに偶然掘當てたのが炭酸外有用な含有物を豐富に含むといふ此の鑛泉である、それを最近に至り岩間氏等が發起人となつて溫泉公司を經營、去る七月溫泉場の假營業を開始、この程本營業を始めるに至つたものである、溫泉場は四季を通じて眺望絶佳、泉質佳良諸病に卓效あり、附近の小南河には釣魚に適當で總坪數十七萬坪の遊園地には庭園の設備あり園內には淸風館、翠前莊の二溫泉旅館の外料理店カフエー等の娛樂設備も遠からず開始される筈で、なほ來春三月頃には公司直營の新京—溫泉間のバスも營業開始される筈であるこの外場外には水瓜、甜瓜等の農園及び植樹園もあり家族同伴の淸遊地としてもつて來いの好適地である、同溫泉公司では高級ホテル淸風館落成を機に四日午後四時より新京、吉林の關係者五十餘名を下九台溫泉に招待し盛大な披露宴を催した

小作人移民村視察團 明春來滿決定
社大黨が積極的に乘出す

社會大衆黨では移民が日本國民發展の上に重要なる意義を有するとの見解のもとに移民の自由を黨の一般政策として掲げてをり對滿移民國策に對しては積極的に援助すべく去る八月には田原、須永兩代議士等が渡滿、親しく移民村を見學しその調査に基き具體的援助策を研究中であつたが、今回皇軍慰問に來滿せる麻生、田原兩代議士が滿拓や滿洲國政府當事者と協議の結果、同黨では明春の農閑期を利して小作人や自作兼小作人のみで視察團を組織し滿洲國政府や滿拓の援助のもとに移民地の狀況を具に見學せしめることに決定した、即ち小作人等が日本の農民として相當の生活を營むに要する一町六反の土地も有たずに極めて貧しい生活を送りつゝ日本に止るのは故鄕を離れ不馴な海外に移住することを不安がるためであるとの見解のもとに將來滿洲に移民するに適するやうな人々のみで約五十名の視察團を組織し、明春の農閑期に淸津に上陸、直に移民地に向ひ移民の生活、移民地の狀況を專門家の立場から研究するもので肥料の要らぬ腐植質壤土を自ら手にとつてためてみるといふやうな眞劍な農民の移民村視察が行はれるわけである

巡回家庭衞生指導班 愈よ結成の運び
明春早々本格的活動に乘出す

首都警察廳衞生科ではかねて「衞生思想普及は家庭から」のモツトーに國都市民の衞生相談相手として衞生思想普及向上に積極的に働きかけんとする『巡回家庭衞生指導班』の結成計畫はその成行を注目されてゐたが計畫發表と共に直ちに結成に着手し去月初旬指導班員を人選日本人二名、滿人四名のインテリ女性を募集し爾來衞生技術廠に於て研究目下は化學檢查、細菌檢查の研究に沒頭してゐる、彼女等は來るべき日の大任を自覺し孜々として研究その眞劍な態度には淚ぐましきものがあるが、大體本年內には基礎醫學を終了、明年は引續き臨床醫學を研究の上衞生指導官とも言ふべき知識を充分養成させて來春三月巢立ち社會に送り出され活動を開始する豫定

中銀の家族慰安會

中銀では五日午後一時より協和會館に於て獻金家族慰安會を催し男女職員の音樂、舞踊、獨唱、尺八、漫談、詩吟劍舞、謠曲それに漫畫ニュース等の映畫と豐富なプロで和氣靄々の半日を過し盛會を極めた【寫眞は同會場】

零賣所を縮少 麻藥斷禁へワンステップ！

特別市公署では來年度より實施さるべき阿片零賣所の直營について目下着々調査を進めてゐるが現在管內四十八ヶ所の零賣所は三十五ヶ所程度に數が減少、麻藥斷禁の積極的工作に力瘤を入れることゝなつた

バタビア在留邦人の慰問獻金

【東京國通】在蘭領東印度バタビア在留日本人會では忠勇なる將兵の行動に感謝し、出征軍人遺家族慰問のためバタビア日本總領事館を經て日本赤十字社宛一萬百七圓七十四錢を送金し來つたので日本赤十字社では日本人會の赤誠に副ふため最善の慰問方法を講ずることゝなつた

昭和十二年を顧みて（五）
消組、百貨店を向ふに 堂々たる商戰
傳統誇る小賣商健鬪の一年

商店街のこの一年間は表面的に見るならば例年にみない種々雜多の目まぐるしい變轉を經驗した、滿洲事變後のインフレ景氣は南滿線の終端の一都市としてのみ記憶された長春が一躍新興滿洲國の帝都として決定されると共にぐん〳〵昇したが、其の建設景氣も昭和九年を頂上として峠を下り始めた、こうした大勢の購買力の減力への一途は眞面目な內地商人の進出と相俟つて從來の所謂滿洲商人の一攫千金的な態度は改善することを余儀無くされて顧客へのサービスが競つて研究された前年度までは對滿鐵消費組合や對滿洲國官吏消費組合への反感傾度が濃く同組合が何等かの新しい意圖に出る度每に反對運動が起され、又前年度における三中井百貨店やニツケの出現に脅威を感じる樣な話も有つた、しかるに本年度の小賣店はさうした理論を棄てゝ正面切つて販賣への努力に職ひ種類のみ多い百貨店に對抗して深味の有る商品を揃へて各自其の特色を發揮して商戰に臨んだ爲に九月卅日新鐵山百貨店の華々しい出現があつても最初の中こそ物好きな新京人の眼をひいたが、一般商店には何等影響が無く却つて百貨店は高いとの聲が起り商店街の中心は依然として吉野町の一帶にあるといふ狀態だ、又七月日支事變突發に依る非常時財政經濟への協力として消費節約を强調されても別段周章狼狽する所が無かつた、即ち事變起るや戰時豫算が組まれて次に來るものは必然的に爲替管理法の强化となり、滿洲國もこれに追隨し爲に舶來奢侈澤品の輸入はほとんど禁止狀態となり代つて國產愛用の聲が高まり毛製品や、革、白金、金製品の供給が不完全となりステープルファイバー製品や同混織品が時代の寵兒として登場したが商店側ではストックの關係により節約を余儀なくする商品でも先高を豫想されながらも大した物價の昂騰を見なかつた、これを利用した賢い一部顧客の購買も有つたが、一般サラリーマン階級にはそんな余裕も無く、此の歲末を控へて新年度の必要なるものはどうしても要るといふ見地から今年度の歲末賣出し大賣出しを各商店共事變以來の購買力の減少を此の機に取戾すべく、その名も「建國五周年」と華々しく强氣に出て、治隣景氣を現出せんと意氣込んでゐるのも本年最後の商戰として興味深いものがある

小學校兒童の激增

國都建設第一次五ヶ年計畫は本年度において完成されて今や名實共に滿洲國の帝都としての面目を備へ邦人の人口も七萬に達したが、その結果による小學校の兒童收容數の膨脹は學校當局を惱ませた、一月十日順天小學校が白菊、櫻木、八島三小學校下の一部兒童を分離收容して開かれてほつと一息ついたが新學期に入るに及んでそれでも間に合はぬといふ譯で室町校が四月に一年生一學級と櫻木校が九月に三年生一學級、五年生一學級と八島校が七月に一年生一學級十月に五年生一學級が增加を見た、又增加を見てゐない學校でも現在溢れ出さうな狀態で來年度新學期には又學級增加を必要とする程である、十一月末の兒童數を比較して見ると左表の如くであつて約一千名の增加を見てゐる都市の人口の一割が小學校兒童であることは全國の通例であつて、これに依つて見れば新京の邦人人口は昨年度より一萬人の增加をみたといふことになる

	十一年度	十二年度
室町	九一一	一〇九一
西廣場	一一八一	一二五〇
白菊	一〇〇三	一一六〇
八島	一三六四	一一〇〇
櫻木	一一〇一	一〇一二
三笠	五四二	六七六
順天		七四〇
普通	九四〇	一〇二七
合計	七〇四二	八〇五六

新京生計費指數 依然上騰

中央銀行調査によれば、新京に於ける生計費指數は飲食品費の續騰を主因として緩慢ながら依然として上騰歩調を辿つてゐる、すなはち十一月總指數は一〇八・九七と指數創始以來の最高點を現出するに至つた、次に五大費目別に見ると飲食品費は糧食費の出廻增加による白米、高粱等の低落も效かず副食品費の季節的品薄に基く蔬菜及び乾菜類の上騰並びに嗜好品費の麥粉、鷄卵高による菓子類の騰貴で〇・七九％を昂げ、住居費は什器高で〇・七五％、雜費は飲食品費の昂騰による交際費高に〇・三三％、被服費は身廻品高に〇・一五％とそれ〴〵騰貴を示したが、たゞ光熱費のみは新炭類の低落で〇・九七％を下げた、なほ一月以降の總指數を示せば次の如くである

	指數
一月	一〇五・二七
二月	一〇六・四六
三月	一〇五・八三
四月	一〇六・六五
五月	一〇五・八七
六月	一〇五・六四
七月	一〇五・八〇
八月	一〇五・三二
九月	一〇七・五九
十月	一〇八・五〇
十一月	一〇八・九七

濱綏線に 舍利屯驛新設

總局では來る十日より濱綏線に左の驛を新設、旅客、手小荷物及び貨物の運輸營業を開始する
驛名 舍利屯（哈爾濱起點三〇二キロ）

乾寫眞館移轉

新京銀座の老舖乾寫眞館では一丁目元日の出屋跡に新店舖改築、寫眞機、同材料ガクブチ、洋畫材料等の支店を併合大擴張を行つたのと創業二十年の自祝を兼ね來る八日午後六時から賓宴樓へ各方面の人々を招待催宴する

あす（六日）

▲煤煙防止燃料經濟週間第五日
▲煤煙防止燃料經濟展、三中井
▲治廢記念展、寶山

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇海軍々歌（東京）▲七・四五日曜特輯ニュース 演藝（大阪）▲美太夫「一の谷嫩軍記」（東京）竹本南部太夫▲八・五〇名作物語（上）「浮世床」（東京）德川夢聲

煤煙防止と燃料經濟週間

週間第五日目行事豫告—
（A）煤煙防止と燃料經濟展（明日切り）
場所 三中井五階ギャラリー
日時 明六日（月）午前九時より（各種相談に與る時間正午より二時まで）
（B）手焚き及機械焚き實地指導第二回實演
煤煙濃度の測り方及び石炭の焚き方〃無代進呈
講師 山崎森井兩氏　通譯 史需麟氏
（C）手焚き及機械焚きの個別的指導
場所 永長路營需品局煖房室　講師 山崎森井氏（申込依賴先又は適宜の箇處に於て）
主催 首都警察廳 新京煤煙防止委員會 新京衞生工業會
後援 大新京日報社 新京日日新聞社 日滿商事株式會社

來る七日は首都警察廳主催無煙デーとして市內主なる煙突の噴煙狀況の調査が行はれる筈

"風の中の子供" けふからの長春座

長春座五日よりの番組は左の如く松竹、佛ヴアンダル作品を配した二本立である

▽松竹大船「風の中の子供」子供の世界の好きな清水宏が、子供の世界を描いてこれ又獨特の境地を拓いてゐる坪内讓治の原作を得てものした野心作、「アメリカ小僧」「爆彈小僧」「突貫小僧」等大船チンピラ陣に吉川滿子、河村黎吉、坂本武、岡村文子等達者な大人陣を配し、父を奪はれ別れ〳〵にならなければならなかつた幼い兄弟二人のいぢらしい兄弟愛を、哀愁を笑ひの世界に盛り込んだ、これは恐らく本年棹尾を飾る佳作であらう、充分に期待されていゝ寫眞である

▽佛ヴアンダル「裝へる夜」「外人部隊」のマリー・ベルと「最後の戰鬪機」「第2情報部」等のジヤン・ミユラーの共演する映畫でジヤン・エプステインの監督作品である、原作は「帝王の道」のピエール・フロンデエの小說により「イスパノ」といふ最高級自動車を持つ男と誤り信じられた男が、奇しき縁にもて遊ばれて自ら動きがとれなくなり自殺するまでの物語り、勿論この間に官能的な戀の三角關係などが綾となつて絡り、エプステインの新感覺派的表現が見られる、日本字幕九卷

母よ安らかに けふから銀座キネマ

銀座キネマ五日よりの番組は左の如く新興一番を配した二本立、久方振りの新興全プロである

▽新興大泉「母よ安らかに」新興お得意のお涙頂戴映畫田中筆子の母親を主役に山路ふみ子、高野由美、歌川八重子、新人黒田達雄等を配して描く肉親愛のメロドラマ、田中重雄の監督作品である

▽同京都「猿飛旅日記」お馴染み猿飛佐助の忍術旅日記、一般に迎へられる荒唐的な面白さが何よりの身上に高桃春雄のオリヂナルものにより堀田正彥が監督に當る、主演者は市川男女之助南條新太郎、高山廣子等

中山晋平氏と喜代三姐さんの結婚式

【東京國通】春から持越しの作曲家中山晋平氏(五一)と小原節の喜代三姐さんこと今村たねさん(三五)の結婚式が三日午後四時から丸の內會館で擧げられた、そも〳〵の始まりは中山氏が九州晉樂行脚の砌り喜代三姐さんの美聲を發見したといふ由來によるといふことだが、事變下と御當人の自肅精神を尊重して結婚式には知人の西條八十氏、小松耕輔氏等だけの簡素なものだつた

雜音

帝都キネマ次週は東寶「たそがれの湖」と同「日本一ブローの殿樣」二本立の東寶全プロであるが、師走興行も後のすところ僅か三週余、この間に東寶「若い人」洋畫では「リビヤ白騎隊」などが本年の掉尾を飾る作品とならう▼お正月は長二郎、傳次郎、入江の「源九郎義經」「エノケンの猿飛佐助」「母の曲」傳次郎の「彌太七あらし」洋畫ではトレンカーの「肉彈山岳戰」ダニエル・ダリユウ、アルベール・プレシヤンの「戀愛交叉點」などあるが、未だ組合せは決つてゐない▼そろ〳〵各館ともお正月プロの準備と宣傳が必要だが、この頃のやうな調子では宣傳も本腰にはなれまい▼一方色もの方も公會堂を本據に一日から以降萬歳、レヴユー、浪曲など賑やかなところが既に日取を決めて待機してゐる、六館を向ふに些か低調氣味の映畫戰線を逆に掴つて漁夫の利を占めやうといふ策戰で、この春は意外なところに好景氣を見せるやも知れず華やかな娛樂街の本格戰が豫想される

さぼてん

頰べたをためたりキッス位ではびくともせぬ赤玉の百合子クンの番に當つた某青年のしつこいこと、これには流石の百合ちやんも顏まけしていやけがさしそしらぬ顏で席をはづすこと十分▼テーブルに歸つて見るとお客が居なく、お不淨かと待てども〳〵歸らず永久に歸らす、殘されたものは食ひあらしの皿と空の銚子…なる程ね、あゝした手もあるのかねと感心した時はあとの祭り、多々ベチヤン▼夜更けク238〃の横を通ると二階から此處のムスメ達が寢卷のあられもない姿で下を歩く男の合評を始めてゐるらしく▼ク禁斷クの家の風景よろしく、口惜しかつたら上つて來いと仰言つるのです▼上つてゆく人はをりませんか、銀座新道のニユー・スタイル、醉つぱらつて歩けば女の子に突つかゝるうれしいみたいなほんとうの話

曆

舊十一月四日　十二月六日　月曜　丁卯　友引　定　張宿

●一白の人　元氣に任せて事を行へば失意の結果を招く　甲と庚と辛が吉
●二黑の人　自重して安全を期すべし物事控ゆるが宜し　丙と壬と癸が吉
●三碧の人　幸運に廻り合せても油斷すれば悲運と成る　乙と丙と壬が吉
●四綠の人　小事とて油斷すれば躓きあり普請移轉亦凶　丙と丁と壬が吉
●五黃の人　絕壁に咲く花の如く目に見ても手に取難し　甲と丙と壬が吉
●六白の人　外見は飾れど內實は心に苦しみ多き不安日　甲と丙と丁が吉
●七赤の人　身動きならぬ衰運の日定業さへも注意あれ　庚と酉と辛が吉
●八白の人　虛勢は張れども永續きせぬ日空元氣は禁物　甲と丁と癸が吉
●九紫の人　刻々と成績の好き日遺失盜難病氣には注意　乙と丙と丁が吉

青春の宿

(映畫上演)　須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

(六一)

相寄る魂(四)

『まあ、お嬢さま――』

千鶴子は、吸ひつけられるやうに、椅子を立ち上がつた。

耀子は、誰の案内も待たずに、この會計課にはいつて來て、千鶴子のうしろに立つたのだ。何か、ひどく嬉しいことでもあるらしく上氣したほゝをにこ〳〵ほころばせて

『ちよつと、話しがあるのよ――兄さんの部屋へ行きませう』

『あの……』

千鶴子が、銀藏の傳言をいはうとしたときには、耀子はもうさつさと、歩き出してゐた。

(まあ、あんなに命令的に仰有つて、何か知ら……銀藏樣のお言傳をいはうとしてもいふヒマのない程、先を忙れるんだもの……何でしょうか……?)

馳るやうにして、あとを追ひ廊下を出ると耀子は、ドアのところに待ちうけてゐて、千鶴子の口を開く餘裕を與へずにいつた。

『わたしね。近いうちに、百萬長者になりさうよ――けふ五萬圓ほど、儲けちやつたの……ほゝゝ。誰にもいつちや、駄目よ――』

千鶴子が、何のことやらわからずに、あつけにとられてゐるうちに、耀子が、ハンドバックから、百圓紙幣を一枚拔きとると、それを、千鶴子の帶の間へ押し込むやうにして

『お小遣ひをあげますわ』

と、につこり笑つて睇やかにしやべりつゞけた。

『これは、わたしの儲けたお金ですから、遠慮なくとつてをいて頂戴――五萬圓、全部現金で手にはいつたんなら、もつとあげるんですけれど、それをもとに、百萬長者にならなければならないんですからね……これだけで我慢してをいて頂戴!』

『まあ――』

千鶴子には、何のことやらわからないが、讀者諸君は、すでに、想像がつかれたであらう。例の株屋の長男、油谷滿美に託した千圓の、これが結果なのだ。

千鶴子がその紙幣を返さうとして、帶の間へ手を入れた手を、耀子が素早く押へた。

『返すなんていつちや駄目よ。あなたに上げた以上、もうあなたのものなんだから……』

『でも……』

『いや〳〵遠慮するひと。わたしは、きらひよ――さ、兄さんのとこへいつしよに行きませう。行つて、少し驚かしてやらなくちや――』

と、歩みかける耀子を

『あの――』

と、千鶴子は、とゞめた。

『課長さんは、お歸りになりました』

『え?――』

『あの……おひる頃、お宅から電話がかゝりまして……奥さんが、お怪我をなさいましたさうで……もし、お嬢さまから、わたしに、電話がかゝつたらすぐ歸るやうにお話してくれ、と仰有つてお歸りになりました……あの病院はお邸の側の富岡病院ださうでございます』

『さう――』

耀子も、蒼白く、顏をひきしめて、どこか遠くを見つめる風をしたが

『それぢや、すぐ、歸らなければならないわ……さようなら……』

といひすてゝ、廊下を引かへしていつた。

『あの……』

千鶴子は、帶の間へ手をいれてあとを追はうとしたが――さう〳〵。追ふ事が出來なかつた。

新研究の發表

胃腸の惡い人は 胃腸の故障を除れ

それが何よりの先決問題

健康な人を御覽なさい。敢へて藥劑の力を借らずとも、どんな食物でも消化し、そして榮養も充分に、潑剌たる健康生活をつゞけてゐます。」

(昔)から胃腸は健康の本源と言ひますが、全く胃腸に故障さへなければ、大人も小兒も三度々々の食事だけで、立派に健康が維持できるのです。」

(所)が、一度、胃腸に故障を生ずると、胸やけとか、胃痛とか、下痢とか、腹張りなど種々の故障が現はれ、そして食物の消化吸收作用が滿足に行はれず、肥れないのみか、次第に全身的に衰弱し、餘病を併發して、つひには死に到る事さへ屢々あります。

實に恐るべきは胃腸機能の障碍です。それだけに、胃腸に故障があれば一刻も早く、その故障を除り去らねばなりません。また故障が起きさうなら、すぐにそれを防がねばなりません。」

此の目的によつて研究創製されたのが即ち新胃腸藥、トモサンです。」

○　○

胃腸の惡い人が、トモサンを服むと『此のクスリだけは私の性に合つてゐる』と、よく言ひます。しかし之はトモサンが、特にその人の性に合つたといふ譯ではなく、トモサンの作用が、外の胃腸藥と違ふからです。

弱い胃腸が働き出す 今までと違ふ新療法!

トモサン は、消化劑でもなければ、榮養劑でも、酵母劑でも、また無論、重曹主劑の胃腸藥でもありません。

トモサンを服んで食慾が出て來るのは、胃の分泌腺が整調されて

消化素の 分泌が正しくなつてくるからです。胃の痛みが無くなるのは、胃の粘膜の糜爛面が治療されるからです。

下痢便が健康便となるのは、腸の粘膜の炎症が回復して、腸の働きが活潑となるからです。

胸やけ 胃の壓迫感、腹部膨滿感が消失するのは、胃腸内の有毒ガスがトモサンに吸收されて大便中に出てしまふからです。

實にトモサンは、今までの胃腸藥と違ひ「何よりも先づ、胃腸の故障を除り、胃腸を働かせる」ことに作用が集注してあるのが特長です。

そして できる限り、胃腸自身の働きで、食物を消化し、その榮養分を吸收する事が却つて弱い胃腸を丈夫にし、眞から健康體となると言ふのが、新らしいトモサン療法の本質です。」

★★ 榮養不良の方へ! ★★

榮養が不良で、いつも弱々しく、たえず、榮養劑を服んでゐるやうな方は、方針を變へて、先づ胃腸の故障を除り、そして偏食をせず、何んでも食べる習慣をつけて御覽なさい。大人も、小兒も自然に血色が良くなり、眞からの健康體となります。

胃腸が弱いからと言つて、たえず、藥の力で消化を助けたり榮養を補つてゐたのでは、弱い胃腸は、永久的に丈夫になれません。

活性珪酸「アルミニューム」

トモサンの主劑は、微アルカリ性、活性珪酸アルミニュームです。此の活性と言ふのは、胃ばかりでなく腸にも作用し、しかも其の作用は強く、そして習慣性もなければ、副作用もありません。

此の活性主劑は、實に我社が多年苦心研究の結果、つひに創製した吾社獨特のものです。

しかも服み易く、値段も全國的に普及するために、非常に低廉としました。

先づ下痢便か 胃酸過多で お試し下さい

胸やけがする、食慾がない、胃が重くるしく、食後に痛みがある人、或は慢性的の下痢便で困る人

この外 酒の飲み過ぎとか甘い物の食べ過ぎで、絶えず胃腸の惡い人はぜひトモサンを御試し下さい。必ず今までと違つてゐる効果を、認識する事ができます。

尚ほ トモサンは故障が除れたら服む必要はなく、あとは、飲食物、氣候の變化などで、胃腸に故障の起きさうな時にだけ服んで下さい。それが却つて胃腸を丈夫にする秘訣です。

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通　一行　五拾錢
特別　一行　貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局専用）③三二〇五　（營業局専用）③三二〇〇
發行人　松本榮勇
編輯人　河内忠之介
印刷人　水越

鵜山鎭、戒岡頭に突入

南京迄餘すところ僅か十里

【溧陽五日發國通】溧陽を占領したわが軍は、五日早朝行動を起し一路南京に向け進撃、その先鋒は鵜山鎭に突入した、南京まであと十里である

【五里舗五日發國通】句容の一戰に敗れた敵は算を亂して南京に向け潰走中で、わが軍は直ちに追撃に移り、尖頭部隊は五日午前八時頃早くも戒岡頭にいたり更に進撃中である

【五里舗五日發國通】四日夜十一時句容に突入したわが軍は夜襲を反復しつゝ殘敵を掃蕩、市街の西北端より飛行場に到着、五日日の出と共に萬歲を三唱し、市内の高樓及び飛行場に日章旗を掲げた

【五里舗五日發國通】五日早朝句容を完全に占領したわが軍は一部をもつて市街の警備に當り、その主力は南京へ向け進撃中である

朝來の砲聲に市民は戰々兢々

【上海五日發國通】南京よりの來電によれば、五日朝來遠雷の如き砲聲が南京市中に響きわたり、正午に至るもなほ繼續してゐる、日本軍最前線部隊は南京東南方四十キロの地點に進迫せるものゝ如く市民は戰々兢々としてゐる

南京を再び猛撃

邀撃する敵一機もなし

【上海五日發國通】南鄕、三原、潮田各大尉指揮の海軍空襲部隊の精鋭〇〇機は、五日午前十一時長驅南京に飛び、故宮飛行場を空襲して猛爆を敢行、全機無事歸還した、この日南京は地上よりの射擊猛烈を極めたが、わが軍の果敢なる攻撃に怯えてか一機もその姿を見せなかつた

杭州、寧國を爆撃

【上海五日發國通】千田、野本、三木の各海軍空襲部隊は五日早朝より寧國、杭州、徽州に飛び終日反復爆撃を敢行杭州では停車場を粉碎し、徽州にては敗走の敵列車、トラツク等を襲擊多大の損害を與へた

蔣は南京に滯在

【上海五日發國通】南京の危機近づくに從つて蔣介石の居所が問題とされ重慶或ひは廬山等諸説行はれをるも、三日夜ニューヨーク・タイムス特派員が南京で蔣介石と會見し居れる事實よりみて未だ南京に居ることが立證された

寧海號鹵獲

【上海五日發國通】艦隊報道部五日午前九時發表＝揚子江より陸軍の作戰に協力しつゝあつたわが第〇〇戰隊の軍艦〇〇は四日對岸よりする猛烈なる敵砲火を冒しわが軍の爆擊により八圩港附近に坐洲せる支那唯一の精鋭寧海を鹵獲しその檣頭高く軍艦旗を翻へした、この戰鬪においてわが方戰死一、重傷一を出した

避難の無錫市民 皇軍庇護懇願

【無錫五日發國通】南京防衛最後の線として去る九月支那軍が無錫に入るや、その暴戾を恐れた十五萬の無錫市民は南方二里半の太湖北岸惠山、唐山等の山麓に難を避けてゐたが、皇軍の無錫占領を聞くやこれ等の市民は皇軍の官民保護を聞き傳へて去る二日および四日の二回に亘り市民代表者三名が無錫警備の〇〇部隊本部を訪れて市民の城内歸還と皇軍の庇護を懇願した、これに對し〇〇部隊でも二ケ月間に亘る避難生活で寒さと飢えに苦しむ實情を察して眞に良民と認むるものゝ城内復歸を許可することゝなつた、この結果數日中に無錫市民の殆んどが城内に歸還し近く市民の手によつて無錫治安維持會が誕生する模樣である

△…江陰砲台占據警備の皇軍步哨

清水侍從武官

【綏遠五日發國通】皇軍將士慰問のため長き遠より御差遣の侍從武官清水大佐は、五日午前十時五分飛行機で當地着、飛行場に堵列せる全將兵に對し優渥なる聖旨を傳達、同卅分飛行機で包頭に向つた

上海―嘉善間 列車運行開始

【上海五日發國通】佐藤部隊の苦心にかゝる滬杭甬鐵路復舊工事は迅速に進捗し、上海―嘉善間は既に開通したので五日その開通式が行はれた、糧秣、彈藥等を滿載した上海戰の最初の軍用列車は五日午前九時上海南停車場を發車、汽笛の音も勇しく嘉善に向つた、一方京滬線の復舊工事も着々進捗し來る七日上海―蘇州間の初運轉が行はれる筈

最近二週間に於る敵損害五十餘機

精神的打擊また甚大

【東京國通】五日午後八時大本營海軍報道部公表＝海軍航空隊の北支奥地における活躍は十一月下旬より今日に至る二週間に於て周家口、洛陽、鞏縣（以上河南省）西安及び蘭州等各地の飛行場若くは兵工廠などに對し長驅勇敢なる空襲を實施して、敵飛行機五十餘機を擊墜又は爆破し、格納庫、兵舍等併せて十四棟を粉碎、北支奥地に蟄伏する敵空軍に大打擊を與へ壓倒的戰果を收めたり、特に十二月四日の蘭州攻擊は同地が大陸方面より武器、軍需品供給の關門たる事實に鑑み敵に與へたる精神的打擊は蓋し甚大なるものありと認む、しかしてこの間におけるわが方の損害は飛行機一を失ひたるのみなり

甘肅省蘭州を空襲

敵十六機を粉碎擊墜

【東京國通】五日午後二時大本營海軍報道部發表＝わが海軍航空隊〇〇機は十二月四日午後一時長驅甘肅省蘭州飛行場を急襲し兵舍及び大型殘四機（四發動機裝備）小型機十機を粉碎し小型機數機を損傷せしめたる後、上昇し來れる戰鬪機（E十六型）二機を擊墜全機無事歸還せり、なほ蘭州にありし飛行機は全部ソ聯製と確認せり

新每記者負傷

【上海五日發國通】新潟每日中倉記者は江陰要塞攻擊に從軍中去月卅日正午頃江陰背面陣地たる定山砲臺山麓にて敵の追擊砲彈の破片を受け足部その他數ケ所を負傷、目下〇〇野戰病院に收容され手當を受けてゐるが、比較的輕傷である

南京中立地帶案 容認困難

【上海五日發國通】國際委員會は南京における中立地帶設置に關し過般米國出先當局を通じわが方に提議し來つたが、大體左記の理由により該案の受諾は頗る困難なる模樣である

一、南京自體は純然たる一大要塞で、中立地帶と目される地域は何等自然の障壁なく境を判然となし難し

一、委員會自體は何等實力を有せず、支那兵の侵入を防ぐこと頗る困難と見られる

しかしながら中立地帶と豫想される地域内には外人ならびに無辜の民が避難し居るものと認め、可能の範圍においてわが軍事設備なき限り該地區の安全を尊重するものと見られる

飽まで日本と抗戰

獨逸の和議勸告謝絕

蔣なほも豪語す

【上海五日發國通】去る二日南京に於て蔣介石と會見を遂げたドイツ大使トラウトマン氏は外交部次長徐謨と同道漢口に歸着した、徐謨は直ちに外交部に入り王寵惠に委細を報告するところあつたが、五日午後の外交團との共同會見に於て外交部のスポークスマンは大要左の如く發表した

ドイツ大使トラウトマン氏は去る二日南京に到着直ちに蔣介石と會見、徐謨次長の通譯にて約一時間に亘り意見の交換を遂げた、右會談に於てトラウトマン氏は本國政府の訓令に基き「ドイツ政府としては日支双方が同意ならば調停に乘出す用意ある」旨を蔣介石に傳へ、蔣介石は「ドイツ政府の好意は深く之を諒とするも支那としては日本軍が支那領土を撤退せざる以上和議の開始は絕體に不可能なる旨を回答し且つ「支那は飽く迄抵抗を徹底的に行ふ可き決意を有す」と傳へた

和平條件なれば欣然應諾 吳弱音を吐く

【上海五日發國通】貴州省政府主席吳鼎昌は四日漢口における外人記者との會見において左の如く述べた

日本がもし支那の受諾し得る樣な和平條件を提示しない限りわれ／＼はあくまで對日抗戰を決意してゐるが日本政府が受諾し得る樣な條件を提示すれば吾人は欣然應諾するに躊躇するものではない、更に日本側の提示する條件が協議する餘地あるものなら第三國の仲介と雖も敢て拒否するものでない、唯この場合日本に對し支那の領土保全、經濟的發展等の承認等を要求するものである

誤れる支那の對日政策 伊紙主筆嘲ふ

【ローマ四日發國通】ジオルナーレ・デ・イタリー紙主筆ビルギオ・ガイダ氏は四日の紙上で支那は第三國の尻押しで交戰を續けてゐるのだと左の如く論じてゐる

支那はエチオピアと同じく第三國の尻押しで日本との交戰を續けてゐるのだ、將來歷史は支那が直面しつゝある悲慘なる運命を指摘して實に誤れる民主主義の結果だと明記するだらう、日本の大陸政策は人口的經濟的必要に基くもので、支那は日本の提携申出でを受諾する義務がある、しかも支那の抗日といつてもこれは自發的な國民運動ではなく外部からの尻押しと壓迫とに起因するものであることは明瞭である、英、佛、ソ聯などは初めは支那を援助するかに見せかけながら最後には支那を見棄てゝ不干涉主義に一轉した、ソヴイエトが今後いくら公然と支那を援助したところで、同國が近く對日宣戰を布告するなどゝは到底考へられない

蕪湖を爆擊中

某國汽船沈沒す

責任は某國側にあり

【上海五日發國通】上海軍五日午後六時發表＝五日わが陸軍飛行機は蕪湖附近に於て敗兵輸送中の多數のジヤンクに對し爆擊中その一彈は附近にありし某國々旗を掲げたる汽船に命中、該汽船は沈沒せるものゝ如し、軍當局は斯くの如き事件の發生を考慮し既に屢次に亘り諸外國の注意を喚起せるところなるをもつて、今回の事件の如きは寧ろ起り得べき必然的な事件なりと思惟しあり

アテネ駐劄ソ聯大使歸還を拒絕

【パリ四日發國通】アテネ駐劄ソ聯大使アレクサンドル・バレツチン氏は今回本國政府から歸朝命令を受けたがこれを拒絕しパリに來てモスクワ政府へ辭表を提出した

臨時軍事援護部

内務省内に新設す

【東京國通】さきに應召者の就職の保證ならびに傷痍軍人の救護方法につき内務省内に臨時軍事援護部を新しく設け明年度軍事援護事業充實費として豫算一千萬圓を決定したが、一方民間では關東聯が產業平和方策調査委員會を作り財界產業各團體に働きかけてきた折柄、日本財界の首腦を網羅する日本工業俱樂部でもこの問題を取あげて鞏固な援護陣を張ることになつた、すなはち去月末の常務委員會で傷痍軍人ならびにその施設に凡そ一千萬圓程度の弔慰金を出すことゝなり數日前に事務理事會を開催してこの問題を諮つた結果全國的な運動として近く經濟團體聯盟にも諮り遲くも年内には具體的プログラムを決定する豫定である

山西祁縣で 敵三百を擊退

【石家莊四日發國通】三日午後約三百の敵が、山西省祁縣（太原南方十五里）へ進擊し來つたので、わが岡崎部隊は直ちにこれを反擊敵は七十の死體を遺棄して南方に潰走したわが方の戰死兵一名に過ぎず

人事往來

▲堀江元一氏（吉林鐵路局工務課長）五日來京ヤマトホテル
▲山田直之介氏（滿鐵監査役）同
▲早借喜太郎氏（吉林稅務監督署）同
▲高屋庸彥氏（會社員）同
▲小野弘一氏（日本ビクター）同國都ホテル
▲山東實氏（大日本ビール）同
▲增本芳太郎氏（北滿製糖）同
▲磯田泰氏（同）同
▲神田繼治氏（北滿產業研究所）同

文部省派遣 視察團天津着

【天津四日發國通】皇軍慰問を兼ね今後の日支教育問題、日滿支文化工作に關し學術視察のため文部省より派遣された内ケ崎政務次官、坂井督學官一行は三日天津に來着、六日まで天津に滯在して軍司令部、治安維持會教育局等を訪問し視察を遂げた後、七日北京に赴き綏遠方面の第一線視察をも行ひ支那側教育の實情を視察した上十七日上海に赴き同方面を視察し二十六日頃歸朝の豫定である

波蘭政府もフ政府承認

【東京國通】四日着電によれば、豫てポーランド政府はフランコ政權に對し通商代表を派遣し、フランコ政權の實質的承認を行つたが、最近わが國並びに滿洲國の相次ぐ同政權正式承認によりフランコ政權の國際的地位がいよ／＼強化され、二日フランコ將軍はブルゴスの古刹において統領として宣誓をなし、フランコ政權は名實共にスペイン中央政府としての體容を整備するに至つたのでポーランド政府においても近く同政權を正式スペイン政府として承認することに決定した

傷語

今次支那事變に出征せる軍人、軍屬の遺家族に對し政府は稅金の徵收を免除したが▼今回更に戰傷勇士に對し國家が就職を保證する法律を設ける事になつた▼日清、日露、歐洲大戰乃至滿洲事變の大勝のあとには幾多戰傷者の悲慘な姿が巷に見受けられ人々の胸を衝いた▼政府はこの國家のため犧牲になつた傷病兵に對し出來得る限りの感謝と溫情をもつて保護を加へねばならぬと對策を練つた結果▼この程大體の成案を得たのでこれに要する豫算並に法律案は來るべき議會に提出する方針に決定した▼その案の内容といふのは戰傷病者を全國の溫泉旅館に收容し全快した者はそれ／＼出征前の職場に戾し▼手足の自由を失つたものについては全國數ケ所に職業輔導所を設けて職業につけるまで▼充分指導してから內務省職業課が總指揮となつて一人の失業者もないやう努力し▼適當な職業の發見出來ない者のためには國家が責任をもつて就職の斡旋に乘り出すため▼行政上畫劃的な強制雇傭を斷行する方針であるといふから▼今までのやうに戰傷勇士の悲慘な姿を認めなくなるであらうことは喜ぶべきことで▼その實現の一日も早きことを希求するものである

東洋平和の確立が日本朝野の念願

事變の徹底的解決期す

高橋中佐、ドイツ新聞人に時局講演

歐米視察旅行中の參謀本部支那班長高橋中佐は、去る十六日午後五時ベルリンでドイツの新聞記者に對しつぎのやうな大講演を行つたが、集る者は皆主筆若くは外報部長であつた、なほ講話後記者團は「中佐の話は實に徹底的で殆ど質問の餘地がない」と言つてゐた

□

今夕小官の述べるのはこれを貴國に對して宣傳するためではない、我盟邦たる貴國の朝野諸賢に對し日本の立場、特に前進方向に關し充分理解して戴き、もつてます〳〵日獨兩國提携の歩みを窄くするため幾分にても貢獻せんとする熱意に出づるものである

一、日滿支三國の提携共助に依り東亞の平和を永遠に確立せんとするは日本朝野の一致せる念願なり、而してこれは支那四億の民衆も亦欲する所で、南京政權又は第三國の反對如何に拘らずこれが達成に努力する、而して日本は右實現は和平手段に依りこれを期せんとしたが、頑迷なる南京政權に依り妨害せられ遂に今回の事變の發生ならびその擴大となり右解決を武力により强行實現するの餘儀なきに至つたのは眞に遺憾だ

二、從來における日本の對支態度は前記の根本精神に基き滿洲國と支那との關係の清算、支那の防共、支那の排日の根絶に依る日本の對支經濟進出の三者を目標として進んで來た右三者にして具體的且完全に達成せらるゝにおいて東洋平和の基礎は玆に確立すべく然る場合日本帝國は支那の分立又は支那領土の分割等は毫末もこれを必要としない、而して右三者は我對支目標にして今回の事變に關する對支媾和條件に非ず、對支和議條件の如きは戰局其他情況の推移により將來決定せらるべきものにして、現在は支那軍に對する徹底的武力行使を繼續するの外なく、而して將來如何に決定せらるゝや等は固より小官の關知しない所だ

三、日本は事變を最も迅速に解決すべく努力を拂つてゐる、日本は當初事變不擴大の方針を堅持せしも支那側によりこの方針の變更を餘儀なくせられ事變の遷延擴大を見るに至りたるをもつて遂に擧國一致强大なる武力を行使し殊に空中攻擊、沿岸封鎖等の手段を併用するに至れり、これ一に迅速なる解決を期せんが爲に外ならない、而して一方日本は事變を徹底的に解決せんと努力しつゝあり、之日支問題の根本解決を行ひ以て將來再び日支間抗爭を繰返さないためである

四、日本は容共政策を採る支那政權と兩立せず又日本は親日政策を採らざる支那政權と兩立しない、而して蔣介石の下に在るCC團を中心とする國民黨、藍衣社・軍事委員會内の抗日軍人、政府内外の反日聯蘇容共分子等は絶對に親日反共政策に轉向し得ないものと考へる

五、列國は蔣介石政權に見切りを附くべき時機に到達せりと考ふ、蔣政權に對する第三國の援助又は第三國の事變に介入することは今や徒勢に過ぎず唯幾分か事變を長引かすに役立つだけだ從來に於ける英、ソ兩國の態度が事變を長びかすの結果となつたのは小官の頗る遺憾とする所だ、事變が長びけば蔣介石政權は逐次其勢力を失ひ一地方政權に轉落し遂に崩壞すること明瞭にして結局某々國の企圖する所と反對の結果を招來すべし

六、日本は事變中は固より今後戰局益々有利に發展したる場合におても列國の權益は之を尊重し、我對支經濟進出に當りても東洋文化の開發に依る日支人の幸福を招來せんとするの見地に立つと同時に列强の利益を侵害して日本が之を壟斷するが如き何等の企圖を有せざるべし、右は武人たる小官の述ふべき限りに非ざるも此機會に附言するも徒爾ならずと信じてゐる

七、余は支那が親日政權に依り統治せらるゝ場合日本と親善關係に在る列强就中盟邦貴國の對支經濟は却つて從前よりも進展すべきを確信する、余は貴國朝野が支那側の發する虚構にして而も事實に非ざる宣傳に誤らるゝことなく日本の正當にして果敢なる行動に協力せられあるを知り衷心喜んでゐる

なほ小官の旅行は單なる歐米見學視察旅行にして何等政治外交的任務に基き行動しあるものに非ず、日支事變の解決に關し貴國側の仲介を得んがために活動しつゝありなどゝ一部外國人の風說を耳にするは誠に迷惑に感じある所なりすなはち目下の時機は專ら作戰行動の徹底的繼續に依り速かに支那軍を覆滅しもつて支那政府の屈服を齎すの外なきものと信じあるを見ても右風說の誤りなることを諒解せられたものと思ふ

倭寇南京進擊の跡 上陸地點も同じ

―國學院大學秋山教授の調査

【東京國通】皇軍の南京攻略陣が既に出來てゐる時今を去る四百年前わが倭寇が「八幡船」の名で當時明の首都であつた南京に三回にわたつて進擊してゐる事實が倭寇研究の第一人者國學院大學教授秋山謙藏氏によつて最近發見され來る十三日帝國學士院例會の席上「南京進擊の倭寇」と題し特別講演がなされることになつた、同氏の調査によれば今次事變の上海戰線各地に倭寇の活躍の跡が敵前上陸の地點と殆ど同じことが判明したこの發見は倭寇明實錄を中心に明史その他當時の支那の文獻によるものであるが、それによると天文廿三年丁度川中島の戰の年にはこの一隊が揚子江の七丁口（前上海事變の敵前上陸地）に上陸して太倉を陷しまた別の一隊は杭州灣北岸乍浦鎭方面に上陸して嘉興、嘉善方面を攻めてゐる、當時は太倉、嘉定、南翔地方が農業の地として大きく上海縣等は小さかつたが倭寇の一隊は呉淞に上陸して上海を攻め松江に入つた記錄もあつた、勿論近代作戰による今次の敵前上陸等と比較にならないが四百年前これと同じところから上陸したといふ珍しい事實が判つたわけである、記錄調査を進めてゐると遂に崑山、常熟、蘇州、更に無錫、江陰地方、太湖を戎克で渡つて進んだ時には「太湖に入ればよく防ぐものなし」とあるのと現在の戰局を見る時頗る意味深長な記錄が殘つてゐる

皇軍猛進を ドイツ人喜ぶ

【ベルリン三日發國通】ドイツ各紙は都會地方の差別なくわが軍の大捷振りを大々的に揭げてをり一般ドイツ人も日本軍の大進擊を他人事ならず喜び、お互に「やあお目出度う」と言つて手を握り合つたり、日本人に向つて「南京は何時陷るか」等と尋ねる者が澤山あり、このところ最近のドイツは上下をあげて日本人大持てゞある

上海の抗日新聞雜誌 三ケ所に移轉

【上海四日發國通】抗日新聞雜誌等は漸次上海より影を沒したが、これ等の發行所は續々香港、廣東及び漢口に移された、人民戰線派の抗日分子は右三個所を抗日運動の本源地とし、中南支の民衆に對して抗日運動再建の猛運動を起さんと策してゐる模樣である

日支の融和は少國民から

天津の兒童作品を東京へ

【天津四日發國通】蔣介石政權離脱、國民黨排斥の聲は日を追うて北支を風靡し各地に自治政府の樹立をみるに至つたが、過去幾年間蔣介石が自己政權の存續强化と國内統一の手段として採り來つた抗日容共政策が如何に國民大衆を塗炭の苦境に陷らしめ、國家存亡の重大危機に逢着せしめたかを如實に體驗せる今日、玆にはじめて親日防共が國を救ひ民を救ふ唯一の途なることを自覺し、北支實力者は毅然として新政策に向つて勇往邁進する決意を牢固たらしむるに至つた、而して當局者は戰後の治安の維持と併行して徹底政の改革を行はんとするに當り特に今日まで實施されてゐた第二國民たる小學兒童に對する排日抗日教育の根本的改訂に腐心しつゝあり、天津治安維持會社會局では小國民の眞の提携を目指し、今回五十校の小學生の作文、繪、その他作品四百數十點を蒐集し三日これを東京市教育局宛に送付し純眞なる第二國民に依る日支融和を圖ることゝなつた

冀東政府地區内に 半島人村建設

―六十八萬圓で明年着手―

【京城國通】北支における避難朝鮮人の指導保護施設として總督府では明年度から北支冀東政府地區内蘆臺に安全農村の建設計畫を樹て、東拓をしてこれに當らしめることゝなつたが、右農村建設について總經費六十八萬圓の内、東拓資金は四十五萬圓の豫定で總督府ならびに外務省より夫々補助金を交付のはずである同農村計畫左の如し

總面積 三、五〇〇町歩
水田 二、四〇〇町歩
畑 六〇〇町歩
住宅地の他 五〇〇町歩
所要人員 一、〇〇〇戸 九、〇〇〇人
一戸當り配當
水田 二・四町歩
畑 〇・六町歩

我輸送隊を 佛警備隊阻止

【上海四日發國通】四日午前上海警備隊は佛租界を通じて第一回の食糧、彈藥輸送を行ふことゝなりトラック五臺に糧食、彈藥を積載虹口方面よりバンドを通過南市に向つたが、午前十一時廿分愛多亞路バンドの共同租界と佛租界の境界線において突如各國警備兵に進行を阻まれた、佛國側は裝甲車を配備し約八十名の警備兵を急派したゝめ一時は險惡な空氣に包まれたが事前の打合せの不備のためと判明約五十分の後佛工部局警官の先導で無事通過し午後零時廿分南市津田部隊本部に到着、かくて佛租界を通過する第一回のわが糧食、彈藥の輸送が行はれた

陸の空軍へ 第二女學生號

【東京國通】全國高等女學校長協會理事長市川源三氏は、四日午前杉山陸相を訪問女學生の赤心籠る飛行機建造資金として五萬圓を獻金した、同協會ではすでに海軍へも海の女學生號を獻納し、五日其命名式が行はれたが、陸軍へは滿洲事變當時第一女學生號を獻納、赫々の武勳を樹てゝ現在では九段の國防館に陳列されて居り、今度のは陸の第二女學生號となつて近く誕生することになつた

駐日大公使 公式のレセプション中止

【東京國通】暴支膺懲の聖戰を續けるわが皇軍の目覺ましい働きとこれに拍車を加へる國民の熱烈な銃後後援は何時しか在京各國大公使始め在留外人達に非常な感銘を與へ、遂に各國大公使はこの際友邦日本に對する遠慮と自肅の意味から今後一切の公式レセプションを中止することを申合せた、例へば母國の國祭日、記念日等も從來は内外朝野の名士を招き盛大な祝宴を催したものを今後は支那事變が終るまで大公使館内で極く内輪に行ふことになつた、また各國大公使館で催す恒例のクリスマス祝賀會も内部關係者のみで開き、外務省關係者は一切出席を見合すことになつた

支那製糸業 沒落の一途へ

【上海四日發國通】支那の製糸業は近年著しく衰退を見せ前途を憂慮されてゐた折柄、今回の事變によりその主要中心地である江蘇浙江兩省が戰區と化した結果工場の大部分は破壞又は操業停止に陷り殆んど再興不可能な程大打擊を蒙り支那最古の民族工業たる製糸業も事變を契機にいよいよ沒落の運命を辿るものと見られてゐる、各地に存在する製糸工場は上海の百五工場を筆頭に無錫四十八、杭州十四その他合計百八十五工場ありその内現在運轉を行つてゐるものは上海租界内にある僅か三工場のみで失業職工數は十萬を越えてゐる、なほ事變當初はイギリス、アメリカ、フランス等の外國商社の支店を經て少量ながら海外へ輸出も行はれてゐたが、生糸檢査所の閉鎖により最近は輸出も完全に杜絶してゐる

滿鐵に對し 廣田外相感謝狀

【奉天國通】今次事變に當り在支居留民の引揚げに對する滿鐵の協力援助に對し、今回外務大臣より左の感謝狀を寄せ來つた

今次支那事變による在支居留民引揚げの支障なく完了したるは貴下の協力に待つところ極めて大なるものあり玆に深甚なる感謝の意を表す

外務大臣 廣田弘毅

重工業會社には 外資輸入に特例

【東京國通】滿洲重工業開發會社の外資輸入については目下各方面とも順調に進捗しつゝあるが、滿洲國政府では外資輸入について凡ゆる方策を採ることゝなりその一つとして外國爲替管理法の適用に特例を開くことゝなつた、すなはち外資輸入は資金の形のみならず技術、機械、原料等種々な形式により輸入されその中資材に對する代金は新會社の株券を交附する新形式を採ることゝなつたが、その株券の株式配當利子等についてはその移動の自由を確保しない限り對手國からの自由なる外資の導入を圖ることは困難であるので滿洲國では新重工業會社に關する外資に限り滿洲國外國爲替管理法の制限を全く加へざることゝし近く發表される新會社の單行法中に右の特例を明記することゝなつた

朝鮮人牧師 英文宣傳物で わが眞意闡明

【京城國通】京城キリスト教監理教會牧師鄭南永師はこの程正義日本の精神を廣く全米民衆に知らしむるとゝもに支那の逆宣傳に踊らざるやうに注意を喚起すべく英文のリーフレット五千部を作成してアメリカの友人知己をはじめ州知事、市長、議員等公職者、教會關係その他各方面に頒布し大いに日本の眞意を中外に宣揚するところあつたが、そのリーフレットにおいては先づ朝鮮のクリスチャンは今次事變をどう見てゐるかといふことから說き事變は全く支那側の排日と暴慢から發生したものであることを述べさらに東亞の現狀において支那赤化陰謀は必然的に增大し、さらに東亞が赤化さるれば全世界はどうなるか、東亞においてこれを防ぎ得るは日本一人であると說き支那の宣傳に乘ぜられることは彼等支那四億の蒼生を眞に神の前に導く途ではないと注意を喚起して結び、その他朝鮮における擧國一致的熱誠振りを紹介し銃後の日本の熱烈さを記してゐる

東亞文教會議 北支代表者着京

【東京國通】日支兩國が眞にアジアの大家族の一員として心から兩國の文化向上を圖らなければならないと來る七日から五日間文部省で開かれる東亞文教會議に北支から選ばれて出席する華北教育會主席常務委員宋介博士、林北京大學教授以下一行七名は三日午後九時東京驛着、大倉東洋大學長、乘杉東京音樂學校長等文化團體關係者多數の出迎を受けて華々しく入京直ちに帝國ホテルに入つた

淨土宗慰問使 六日神戸發渡支

【京都國通】淨土宗では上海戰線皇軍將兵、在留邦人慰問戰死者弔慰のため大本山智恩寺法主桑田大僧正を特派することに決定、六日神戸出帆の長崎丸で渡支することになつた、一行は手拭二萬本、煙草五千個、氷砂糖五百斤その他多數の慰問品を携行し、約一週間にわたり各方面を巡歷する豫定である

新京特別市公署 新諮議員の横顔（中）

△大原萬千百氏

在野法曹界の重鎭として國都にあつて各方面に縱横の活躍をしてゐる辯護士大原萬千百氏は神戸市の出身當年四十六歳の油の乘り切つた働き手で、滿洲興業取締役、奉信無盡取締役、滿洲興業監査役、滿洲中央銀行法律顧問の肩書の外に公的關係では新京地方委員會議長、新京商工會議所特別議員、新京辯護士會長、滿洲法曹會理事長等獨りで背負ひ切れない程澤山の肩書を有つてゐる新京知名士の一人である、氏は大正七年東大英法科卒業、卒業後古海商事に入社したが、大正八年東大々學院に法律學を研鑽後辯護士となり、法學博士原嘉道法律事務所に入り昭和七年四月渡滿の際同窓の當時哈爾濱駐劄總領事現外務局長官大橋忠一氏の慫慂を受け滿洲法曹界のため一身を捧げる決心を抱いて翌八年六月來京、辯護士を開業し今日の確固たる地盤を築いた情もあれば腹もある國士型の人物である、地方委員會議長の重責を果した經歷もあり市政にも明るい同氏を新諮議員の一人に加へたことは諮議會に一段の光彩を加へるものとして各方面より喜ばれてゐる

△松田彌三郎氏

城内目拔きの大馬路に「松田自轉車店」の大看板を揭げ事變以來滿人商店街にあつて邦人商店として一異彩を放ち今日の大をなした松田彌三郎氏は滋賀縣の產、滿洲に渡つたのは大正五年春農商務省より關東廳に轉任高等課出版係の事務にたづさはつてゐた關係から大正十三年當時の大連新聞社長寶性確成氏に懇望されて大連新聞營業部長兼事業部長の要職に就き滿洲事變勃發とゝもに退社、大連新聞時代に築き上げた地盤を基礎に建築事業にたづさはるとゝもに現在の所に自轉車自動車修繕の店を出し言はゞ新京においては草分けに屬する人である、また氏は新京居留民會首腦者として久しく眞に市民の親となり兒ともなつて在留邦人のために獻身的努力を捧げた人である、その精力的な風貌は如何なる困難に逢着しても眞正面からぶつつかる勇猛さと、その反面永年在留邦人として嘗めて來たる辛酸により鍛へられた不撓不屈の人柄は、協和會首都本部委員、前自治委員としての手腕と相俟つて民間より選ばれた諸議員として蓋し最適任者として歡迎されてゐる

△田中貞二氏

滿洲草分けの一人に數へられる田中貞二氏は兵庫縣の產、當年五十四歳、現在祝町にペーチカ築造業を營んでゐるが、氏が大陸に志を抱いて滿洲に渡つたのが明治廿九年六月、當時貿易港として殷賑を極めてゐた營口に上陸、こゝで僅かばかりの資本をもつて雜貨商をはじめ、邦人壓迫その他幾多の苦難と鬪ひながらも不撓不屈の精神は漸次支那人間にも噓をいはない人格者としての氏を良く理解するやうになり、商賣も繁榮しとん〳〵拍子に資本も出來好調に棹さし、長春に來たのが大正五年の春こゝで色々の苦勞もあつたが、頑張りズムは商賣氣を離れて在留邦人を始め氏に接する支那人の世話と面倒を見た懸命の努力は漸く實を結び、今日の地位を築き上げた大正十二年始めて町内會が出來た時推されて副會長となり前地方委員も勤める一方現在新京商業、青年學校後援會長、記念公會堂理事の肩書を持ち、特に附屬地發展の爲盡瘁したその功績は實に大なるものがある、現在健康を害して自宅で靜養中であるが、漸次快癒し、來る八日市公署で開かれる新諮議員の初顏合せの時は是非出席したいと熱望してゐるが市民のため氏の健鬪を祈つてやまない

△李鐘元氏

諮議員中一人の半島人代表李鐘元氏は平壤の出身、今年卅九歳の青年實業家であるとゝもに篤望家である、昭和四年渡滿以來長春時代より引續き現在は梅ヶ枝町に木材商を營んでゐるが、現在は協和會朝鮮人分會長として協和會の爲に新京に居を構へ種々の公職に就き、華々しい活躍を續けてゐる良妻賢母をうたはれる金汝允夫人も氏に劣らない社會事業家で現在朝鮮幼稚園長としてその經營に當つてをられる、李氏は極めて溫厚で滅多に人に冗談も言はない無口の人だが、内に燃える熱情烈々たるものがありかつて氏は友人の一人に五六千圓の資金を融通して商賣を經營させた事があるが友人の不眞面目な行爲のため商賣は大失敗に終り大損害を蒙つたことがあるが、氏は決して友人の非を責めず「金の損害で一人の友人を棄てることはその人を殺すことだ」と言つて更に數千圓の資金を融通して友人を助けたことがある、これは單に氏の一面を物語るに過ぎぬが、在京朝鮮人間には親とも兄とも慕はれるに今度の朝鮮人代表の諮議員に選ばれたのは當然のことで、氏がこの友愛と熱情をもつて市政のために懸命の努力を拂ふことを熱望する次第である

ヨーロッパ諸國も皇軍の力に信頼
北支外交首腦に擬せられ
歸朝の途上哈市で谷駐墺公使語る

【哈爾濱國通】外務省では北支の各種建設工作の進展および北支の政治形態等の新事態の動向に對應するためオーストリア公使谷正之氏を北支に特派してこれが任務に當らしめることゝなり、曩に同氏の歸朝命令を發したが、右命令に接し急遽シベリア經由歸朝の途にある公使は、五日午後一時四十分着列車で鶴見哈爾濱總領事等の出迎へを受けて着哈、一旦ヤマトホテルに休息後、午後十一時卅分發列車で新京に向つたが、同氏は出迎への記者に一年半振りに見る滿洲國の姿に喜びの色を面に輝かしながら左の如く語つた

歸つて來いとだけで別に新しい赴任先については聞いてゐない、外務大臣に會つて色々聞いてみなければ何も判らない、北支へ行くといふ話があるとすれば自分のやうな矢張り平和な處より動亂の土地が適してゐるんだね、北支事變でも判るやうに日本は正義の國だ、この正義のために文字通り擧國一致で闘つてゐる日本の姿は見てゐて氣持がいゝヨーロッパの國々といつても自分の知つてゐるのは小國だが、はじめは彼等も戰爭に捲込まれるのではないかと心配してゐたらしいが上海が日本軍の力で落着いたので今ではすつかり落着いてゐる、これで見ても判るやうに

彼等
は自國の安全を保つことにのみ汲々として他國の事など考へる暇は全然ない、この點結局その他の國も同じ事だよ、世界の何處に日本のやうに正義のために幾多の犠牲を拂つて戰つてゐる國があるだらうか、ヨーロッパでは獨伊がベルリン、ローマ樞軸を結んで高く理想を掲げてゐる態度は見上げたものだ、ソ聯のことは自分の擔任でないのでよく判らないが、近頃は兎角沈滯の模樣だね、肅正工作も近頃は外交官にまで及んで、外國駐在の大公使をどしどし罷免してゐるが、外交といふものは知人も知己もない所で、今日着任して直ちに圓滿にやれるといふものではないのに一體如何する心算だらう、全くソ聯は謎の國だよ、モスクワには一日

滯在
したがみすぼらしくて穢ない、最何處も寂しさうだつた、最高會議員の選擧で新聞紙上も大分賑かのやうだが、市民は一向に興味がなさそうだつた、シベリヤ鐵道ではイルクーツク、ウエルフネウヂンスク近くで二度列車を停車せられ五十四時間も延着した、原因は判らないが軍隊の交替期で混雑してゐる樣だつた、一緒に來た外人連もソ聯内では隨分不安がつてゐたが滿洲國に入るともう安心だと言つて急に朗かにわめきだした、人柄も困る、滿洲國のやうな國に不安を抱かせるやうに明朗でなければいけない、滿洲國の嚴然たる存在を世界中に疑ふものは一人もなくなつたが、治外法權の撤廢、イタリー、スペインの承認と躍進の一途を進んでゐるのは眞に結構なことで喜ばしい、これも日滿を一體とした正義の力によるものだと思ふ、しばらく見ない間に又變つてゐる滿洲國を新京まで見て行けるのが樂しい

なほ同公使は午前七時十分新京着の豫定、當日は新京に滯在、七日飛行機で東京へ向ふ

張總理の祝電に西班牙政府より返電

去る二日張國務總理大臣はスペイン國新元首フランコ將軍にあてゝ祝電を發したが、これに對し折返しサラマンカのスペイン政府より滿洲國政府宛五日左の如き返電が寄せられた

余は忘れ難き友愛の辭をもつて表現せられたる閣下の電報を受領したる事を茲に確認するの光榮を有す、余は閣下の御挨拶に對して深く感謝し且光輝ある過去と多望なる將來を有する貴國が高邁なる御資性と愛國の御至情をもつて夙にスペイン國民に知られ給ふ、皇帝陛下の仁慈なる御治下に常に幸福繁榮ならんことを熱望す、國民派スペインは滿洲帝國との間に恒久的友好關係を維持せんことを熱望し且これを強化するためあらゆる手段を惜まざるべし

無情の夫へ
捨てられた妻子から說諭願

捨てられた故に慌しい師走も押迫つて三人の子供を抱へ飢ゑと寒さに泣く身重の妻から「無情の夫ではあるが返してくれ」と五日中央通警察署へ說諭願出があつた、本籍千葉縣東葛飾郡野田町清水、現住所市內祝町一丁目二豫備役工兵伍長石山芳夫(三九)=假名=は五年前退役、妻八重子さん及三人の子を殘して單身渡滿來京の上國道局に就職した故里に殘つた八重子さんは寂しい無味な生活の中にも愛兒の將來の爲に堪へて來たが、昨年父の死亡のため子供三人を連れ本年三月後を慕つて來京した、然し夫石山は八重子さんのものではなく元三笠カフエー女給松木美子(四〇)と渡滿頭初より同棲前記祝町に喫茶店を經營してゐた、はるばる訪れた妻子に省みるところない石山であり無情に泣いた八重子さんは三角關係のもつれに石山は病氣を理由として國道局も退職一度鄕里に歸り妻子に安心を與へたのも束の間去る九月八重子さん名義の七千圓据置貯金通帳及恩給證書現金千三百圓を持出し無斷家出再び來京情婦松木のもとに走つた、殘された妻子は無一物加へて身重の身で生活は窮迫、更に軍籍にある夫は非常時局いつ召集の命あるとも限らぬから說諭の上鄕里へ歸してくれと妻八重子さんから願出でとなつたものであつた

二報國號命名式
【東京國通】燃える愛國心の結晶たる全國青年學校號、第二女學生號の兩報國號飛行機の命名式は五日午前十時半から初冬の陽光もなごやかにさす羽田飛行場で盛大に擧行された

煙匪掃蕩へ完全燃燒
展覽會、講習賑ふ
けふの手焚講習は瓦斯會社で
防止週間第四日

新京煤煙防止委員會主催の煤煙防止と燃料經濟週間は時恰も非常時體制下のことゝて市民の頭にピンと響き週間第四日目五日の日曜には三中井の展覽會場へ繰り出した觀衆は三千名を突破する勢ひ、一方手焚實地指導所常盤町滿鐵集合煖房室に集つた受講者約四十名に上りスコップを持つては右に出るものないといふ森井講師自らスコップを執つての熱心な指導に一同多大の收穫を得て終了した、なほ展覽會は六日午前九時から三中井五階ギャラリーで開催されることは前日通りであるが、手焚講習の時間は豫定を變更して午後二時から羽衣町瓦斯會社煖房室で行ふことになつた

三江省に蠢動の匪團擊滅
【佳木斯國通】樺川縣葡家店駐屯〇〇部隊は滿警を併せ指揮し去る二日午後三時頃同地東北二里〇〇〇〇に於て胡匪九占匪の合流匪六十名と交戰半時間にして敵に多大の損害を與へこれを東南方に敗走せしめた、この戰鬪に於て敵の遺棄死體三、わが方三宅行四郎一等兵は壯烈なる名譽の戰死を遂げた、更に三日午後五時頃東部隊は鍋峯石に於て匪首尤連付の指揮する八十名と交戰、二時間にしてこれを西方に潰走せしめた、敵の遺棄死體五、死馬三、鹵獲品多數わが津川伍長は輕傷を受けた

國旗侮辱事件に對し上海居留民大會
英の猛省要望を決議

【上海五日發國通】一英國人のわが國旗侮辱事件に關する上海居留民大會は五日午前十時より東和劇場で開かれた、問題の重大性に憤激した居留民は滿場立錐の餘地なき迄に集まり大國旗を飾つた會場には一種悽慘の氣が滿ちた、甘濃民團長の開會の辭、目擊者談、糺彈演說などあつて後、居留民一同の決議を決定し、實行委員をしてわが軍當局に手交傳達することゝして正午散會した

決議

十二月三日南京路に於て皇軍行進の途上一英人がわが國旗に加へたる侮辱事件は吾人の斷じて忍ぶ能はざるものである、仍て帝國政府は本件に關し毅然たる態度をもつて英國朝野の反省を促し斷乎としてその問責糺斷の擧に出でられんことを要望す

右決議す

昭和十二年十二月五日　上海居留民團

社大黨慰問團が激勵メッセージ
【上海五日發國通】居留民大會に對し社會大衆黨皇軍慰問團は左のメッセージを送つて氣勢を添へた

今回の事變に際し上海における居留民同胞各位の健闘を謝し、祖國の權益擁護擴大に更に一段の御奮鬪を祈る、吾等は祖國日本國民の輿論を強化し、居留民同胞各位の意圖に協力せんことを誓ふ、前線に出發するため本日の大會に一同出席し得ざるは寔に遺憾である、右謹んでメッセージを送り大會の盛會を祈る

文學親話會
滿日文化協會では六日午後二時から大興ビルの同協會事務所で第二回の文學親話會を開催する

西藏の活佛奉天發歸國
【奉天國通】滿洲國の招聘により國賓として來滿、新京、奉天、撫順、大連と各方面の視察を終へた西藏活佛安欽呼圖克圖師は四日午後二時四十二分あじあで大連より來奉、少憩の後五日午前一時十分發列車で關係者多數の見送りを受け滿洲國より受けた多大の歡待に感謝しつゝ奉天驛を後に歸西の途についた

鮎川日產社長けふ來京
【東京國通】日產鮎川社長は六日飛行機にて東京出發、新京に赴き滿洲重工業會社の新役員につき滿鐵側と最後的折衝を行ふが、日產としては自社側よりする選出をなるべく少數に止める意向で、右折衝の結果は大體一、二變更を加へる程度で、新陣容を構成する筈である

小林海軍中將
【安東國通】元駐滿海軍部司令官海軍中將小林省三郎氏は戰後復興の途上にある北支視察のため五日正午安東通過北支に向つた

小野國通編輯局長歸京
北支、綏察方面視察中の國通編輯局長小野敏夫氏と弘報處情報科長岡田益吉氏は二十日間の旅程を終へ五日午前七時歸京した

正月餅が戀しい
前線兵士の無邪氣なさゝやき
兵站部正月支度に大童

【磁縣五日發國通】京漢線最前線地方に二、三日前から猛烈な寒氣が襲つて來た、ラヂオも新聞もない河北平野の眞中では三寒四溫と言はれる大陸の氣候の急變は一氣にして第一線にならびつく將兵を苦痛のどん底に叩き落してしまつた、心臟まで凍りついてしまひさうな午前一時、二時頃各城門や市街の要所を護る步哨の勞苦は筆舌に盡し得ないものがある、研ぎすましたやうな空にはオリオンの三星が燦然と輝いてゐる、星の美しさと眞暗な夜空を仰いで步哨に立つて始めて理解される、日記を見れば今日は十二月五日だ、永い前線生活で時の觀念は段々薄くなつて、この頃では日さへ怪しくなつてゐるが、霜軍營に滿ち夢まどらかならぬ前線の將士達の思ひは家鄕に通ひ「あゝもう師走だ」などと誰言ふとなく私語し合つては故國からの便を待ちわびてゐる若い元氣な兵隊さんには「正月には餅が食へるだらうなあ」と無邪氣な心配をしてゐる、經理部では不自由勝ちな前線生活にせめてお正月には餅だけでも充分食べさせたいと態々天津まで出かけてもう正月の準備に忙がしい

店頭飾る新日記

師走の風が國都に入りて、人々が漸く年の暮の訪れを知つた時、早くも街頭の書店には輝く昭和十三年の人生の記錄を綴る「メイアリー」が新春の裝ひも美しくスマートな體形で店頭にデビューしました、「春の紀行に、さては夏の感激に」と若人が幸福の思出を綴るこの日記帳の初の一頁には必ずや、支那降伏の四文字を讀め輝く昭和十三年の新春を心から謳歌する事であらう【寫眞は店頭に現はれた昭和十三年の日記帳】

滿洲の大地へ眞の愛着を持て
麻生、田原兩代議士過京談

哈爾濱、齊々哈爾方面の視察を終へた社會大衆黨代議士麻生久、田原春次兩氏は四日午後二時着あじあにて再度來京中央ホテルに投宿した、六日午後二時十分發奉天、承德より大連經由で歸國する豫定であるが麻生氏は視察の感想や明春來滿する小作人移民村視察團について左の如く語つた

五族協和といつてゐるが、日本人は國家の權力に追隨して官吏層に存在するのみで眞に農民達の間に食込んでゐないから眞の意味の日本族といふものは滿洲に存在しないから名實相伴つてゐないぢやないか、大體土に立つ邦人が單なる出稼ぎ根性で短期しか居らないでは困る、退職金を貰ふとさつと內地へ歸つてしまふといふ狀態では困る、眞に滿洲の土になるといふ氣持の人のみを滿洲國は迎へることが必要で、其の點印度に居る英國官吏を見習ふべきた、悠々たる三千年の歷史をもつ民族の中に短期間にやたらに色々な線を引張つて見た所で始らないぢやないか、だから新京始め滿洲全部が神經衰弱になつてゐる、その神經衰弱に負けて歸る樣な官吏や共喰ひの商人をノックアウトして眞に土に生きる移民をどしどし發展させて貰ひたい、その意味において明春小作人のみの移民村視察團をつれて來るのだ、水騷動で血を見る程に土を執着を持つてゐるのに土を所有することの出來ない小作人こそどしどし滿洲國に入れるべきだ、協和會も創設當時の意義を失つて官僚的な空氣になつてゐるさうですね

松本外務次官歸途に就く
【天津五日發國通】皇軍慰問を兼ね約一ヶ月に亘り京津地方および北支各地を視察せる松本外務政務次官は、五日午前六時半飛行機にて天津發、途中大連に一泊の後歸京の豫定であるが、天津出發に先立ち北支視察の結果につき左の如く語つた

京津地方を始め奧地は張家口、綏遠、包頭、大同、太原、順德等の各地を視察したが、到る處皇軍の武威と慈愛の手により治安も漸次回復され、良民の歸來するもの相次ぎ復興の意氣も目覺しい、殊に蒙疆地方は逸早く蒙疆聯合委員會の成立をみて各縣長等も任命され又蒙疆銀行も設立され羊毛の買付その他農民救濟の經濟工作もどしどし行はれて居り力強く感じた、太原、順德、石家莊等においても二日も見ないとまるで樣子が變る程歸來者が目立つて多く食料等を商ふ店が續々開店されてゐる、これらの地方には現在食糧飢饉の虞れはないやうであるが、食鹽砂糖等の不足には大分困つてゐるやうだ、今後鐵道輸送能力を增加して速かにこれを供給する必要があると思つた、又各地を廻つて痛感したことは支那人自身の手により新機構の誕生を熱望し、率先これを支持しこれと協力しやうといふ希望が到る處に溢れてゐる

三日北支前線へと旅立つた市民代表慰問使を見送らんと驛頭に集つてゐる人達のざわめきの中に聞いた噂話▼「どうです顏觸れが好いぢやありませんか、神さんの植村さんと日露戰爭生殘りの勇士船越さんと手を組んで行つたら向ふ所敵無しですね」「病氣になつても早川さんが居る」「だつて齒醫者ぢや手に負へないものが有りますよ」▼「なあに非常時だ、あの釘拔きで齒を拔く調子でやるのですよ」と言つてゐるのを耳にした早川氏も苦笑ひ

けふの天氣　西寄りの風晴
日の出　前七時五七分
日の入　後五時一一分
月の出　前十時十一分
月の入　後七時五六分
きのふの氣溫　最高零下八度一　最低零下一九度七